

授業科目名	数学	科目コード	G5906P02
英文名	Mathematics		

科目区分	教養科目 - 自然理解科目		
------	---------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	新夕 義典
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	3限目
開講時期	1年・2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	自分の中にある既得数学知識・技能について省察し、その構造について発見的に再確認することにより、数学的な見方・考え方やクリティカルシンキングを含む社会で有用（転移可能）なコンピテンシー（資質・能力）の育成を目指す。		
-------	--	--	--

キーワード	数学的な見方・考え	クリティカルシンキ	コンピテンシー		
-------	-----------	-----------	---------	--	--

到達目標	数学的な見方・考え方やクリティカルシンキングを含む社会で有用（転移可能）なコンピテンシー（資質・能力）を育成することができたか。				

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	・オリエンテーション ・小・中・高校時代の数学の授業と数学の既習知識についてふり返る（個人記述）。	
	【予習】・小・中・高校時代の数学の授業と数学の既習知識について記述したい内容を絞り込んでおく	120分
	【復習】・個人記述を完成させる	120分
第2回	・第1回の授業で課した個人記述をグループ（3～4人）で発表し合い、数学と数学教育に対する認識を共有すると共に、各自の問題点や数学と数学教育に関する本質について絞り込む。 ・全体発表 ; グループで出た意見や内容について全体で発表する。	
	【予習】・第1回の授業で課した個人記述の内容を精査し、グループ（3～4人）での発表に備える	120分
	【復習】・グループや全体発表で出た意見について、自分の経験や状況などと照らし合わせ、考えをまとめておく	120分
第3回	・全体発表 ; グループで出た意見や内容について全体で発表する ・数学及び数学教育と、自分との関係（認知、認知方法、活用や有用性）について、本質に迫る（個人省察、グループ協議）。	
	【予習】・前時のグループや全体発表に対して自分でまとめた考えをもとに、課題や第3回の授業で扱いたい内容を絞り込む	120分
	【復習】・自分にとっての数学や数学教育とは何だったのかについて考えをまとめる	120分
第4回	・数学及び数学教育と、自分との関係（認知、認知方法、活用や有用性）について、グループ協議の内容を全体で発表すると共に全体で協議し、数学及び数学教育の本質に迫る（数学や数学教育は必要か、それは何故か？）。	
	【予習】・自分にとっての数学や数学教育とは何だったのかについてまとめた考えをもとに、課題や第4回の授業で協議したい内容を絞り込む	120分
	【復習】・数学及び数学教育の本質についてさらに深く考え、まとめておく	120分
第5回	・数学及び数学教育の本質について明らかになったことをもとに、小・中・高校での具体的な既習内容について、クリティカルシンキングを基盤に、数学的見方・考え方を適用し、捉え直す（再構築を行う）。	
	【予習】・数学及び数学教育の本質についてさらに深く考えた内容をもとに、各自で授業に臨むめあてを設定する	120分
	【復習】・数学及び数学教育の本質について明らかになったことをもとに、小・中・高校での具体的な既習内容について、クリティカルシンキングを基盤に、数学的見方・考え方を適用し、捉え直す（再構築を行う）やり方（方法）を把握し、確認する	120分
第6回	・数と式領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・数と式領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第7回	・数と式領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・数と式領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第8回	・関数領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・関数領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分

第9回	・関数領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直す。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・関数領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第10回	・図形領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・図形領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第11回	・図形領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・図形領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第12回	・統計領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・統計領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第13回	・統計領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・統計領域に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第14回	・社会及び教育等に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・社会及び教育等に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第15回	・社会及び教育等に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し捉え直し、問題を解く。	
	【予習】・前時の授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・社会及び教育等に関する具体的内容 について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方をどのように適用し捉え直したのかを確認し、身につける	120分
第16回	・到達目標の達成状況を把握するための試験を実施する。	
	【予習】・今までの授業内容を確認し、新たな具体的内容について、クリティカルシンキングと数学的見方・考え方を適用し、捉え直しができるようにしておく	120分
	【復習】・問題をもとに、さらに深く考えてみる	120分

評価方法	毎回の“ふり返り（記述）”及び不定期の“課題レポート”（60%）、定期考査（第16回目充当）（40%）で評価する。		
使用資料 <テキスト>	講義プリントは毎時間配付する。	使用資料 <参考図書>	必要に応じて提示する。
授業外学修等	毎回、授業終了後に“ふり返り”を書き、メールに添付して提出してもらいます。提出してもらった“ふり返り”の中からいくつかを次の時間の最初に紹介します。また、必要に応じて“課題レポート”の提出をを課します。		
授業外質問方法	提出する“ふり返り”に質問内容を記述することもできます。		
オフィス・アワー	授業前または修了後、非常勤講師控え室で対応。		

授業科目名	フランス語	科目コード	G6101P09
英文名	French		

科目区分	教養科目 - 外国語科目		
------	--------------	--	--

職名	教授	担当教員名	大谷 孝行
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目 1限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	<p>フランス語が使われている国は、フランス以外にも、ベルギー、スイス、カナダ、アフリカ諸国等、たくさんあります。英語以外にももう1か国語学ぶことで、あなたの視野は確実に広がるでしょう。この授業では、初めてフランス語を学ぶ人を対象に、フランス語のアルファベットからスタートし、順次フランス語の文章の仕組みを学習していきます。フランス語は発音が少し難しいので、つづりの読み方や発音の仕方には特に注意を払って勉強します。また、映像教材を見ながらフランス各地を旅して、広くフランス文化を学びます。</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	発音	初級文法	初級会話	フランス文化
-------	----	------	------	--------

到達目標	フランス語の綴りを発音できる。
	フランス語の簡単な文章の構造を理解でき、簡単な文章を「読み、書き、話し、聞く」ことができる。
	フランス各地の特色（観光名所、歴史的建築物、郷土料理など）を学び、他者に説明することができる。

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	4.社会人としての能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	フランス語のアルファベ フランス語のアルファベの発音を学び、自分の名前の綴りをアルファベで言ってみる。	
	【予習】	
	【復習】アルファベを暗唱できるようにしておく。	30分
第2回	会話「こんにちは」、「はじめまして」。 フランス語で簡単なあいさつを試してみる。	
	【予習】	
	【復習】簡単なあいさつ表現の暗唱。	30分
第3回	名詞の性と数 名詞の男性名詞と女性名詞、単数形と複数形について。数詞の1～10まで。	
	【予習】	
	【復習】男性形と女性形についての復習。	30分
第4回	会話「切符を買う」。冠詞 不定冠詞と定冠詞について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】名詞の数と性に応じた冠詞の使い分けを復習しておく。	30分
第5回	会話「切符を買う」。動詞êtreと強勢人称代名詞 英語のbe動詞にあたる動詞êtreについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】動詞êtreの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第6回	動詞êtreと強勢人称代名詞 動詞êtreと強勢人称代名詞を使ったやや難しい表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】強勢人称代名詞の種類と用法についての復習。	30分
第7回	会話「どこにお住まいですか？」 第1群規則動詞(er動詞)について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】第1群規則動詞(er動詞)の活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分

第8回	<p>会話「どこにお住まいですか？」 動詞avoirについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】動詞avoirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分
第9回	<p>指示形容詞。avoirを使った慣用表現 「この、その、あの～」という表現。avoirを使った様々な表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】指示形容詞の種類と用法についての復習。	30分
第10回	<p>会話「小銭を持っていません」 否定文の作り方。数えられない名詞につく部分冠詞。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】否定文の作り方についての復習。	30分
第11回	<p>会話「小銭を持っていません」 否定文に使われるde。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】否定文に使われるdeについての復習。	30分
第12回	<p>所有形容詞。様々な否定表現 「私の～、君の～」という表現。様々な否定表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】所有形容詞の種類と用法についての復習。	30分
第13回	<p>基本数詞 1～100までの数詞を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】基本数詞の暗唱。	30分
第14回	<p>総復習(1) これまでの授業を振り返って復習をします。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分
第15回	<p>総復習(2) これまでの授業を振り返って復習をします。</p>	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分

第16回	中間試験	
	【予習】	
	【復習】	
第17回	会話「会場に入りましょう」。命令法 相手に合わせた命令文の作り方。	
	【予習】	
	【復習】 命令文の作り方についての復習。	30分
第18回	会話「会場に入りましょう」 形容詞の性数変化について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】 形容詞の性数変化についての復習。	30分
第19回	命令文と形容詞 様々な命令文の作り方と形容詞を使った表現。bonを使った慣用句について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】 bonを使った慣用句について暗唱。	30分
第20回	会話「これは何ですか？」 様々な疑問副詞「いつ?」「どこで?」「なぜ?」「どうやって?」。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】 疑問代名詞についての復習。	30分
第21回	会話「これは何ですか？」 様々な疑問副詞「いつ?」「どこで?」「なぜ?」「どうやって?」。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】 疑問副詞を使った文章を暗唱。	30分
第22回	前置詞のde、àと定冠詞le、lesの縮約。 C'est ~で感想を言う。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】 前置詞と定冠詞の縮約についての復習。	30分
第23回	会話「ここで写真は撮れません」 pouvoir「～できる」、vouloir「～したい」。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。	
	【予習】	
	【復習】 動詞pouvoir、vouloirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。	30分

第24回	<p>会話「この絵の中ではどれが好きですか？」 疑問代名詞「どれ?」「どちら?」 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】疑問代名詞についての復習。	30分
第25回	<p>会話(様々な依頼文) pouvoirとvouloirを使って様々な依頼文を作る。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】依頼文、許可を求める文の暗唱。	30分
第26回	<p>パリ散策(1) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。</p>	
	【予習】	
	【復習】フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第27回	<p>パリ散策(2) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。</p>	
	【予習】	
	【復習】フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第28回	<p>パリ散策(3) パリ市内地図を使って、パリの名所を散策。</p>	
	【予習】	
	【復習】フランス語で書かれた地名や名所を読めるようにする。	30分
第29回	<p>総復習(1) これまでの授業を振り返って復習をします。</p>	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分
第30回	<p>総復習(2) これまでの授業を振り返って復習をします。</p>	
	【予習】	
	【復習】授業内容の復習。	30分
第31回	<p>期末試験</p>	
	【予習】	
	【復習】	

第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標 1 については、期末筆記テストで評価します。(20%) 到達目標 2 については、期末筆記テスト(80%)で評価します。 なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。 社会性：40%、 専門性：60%</p>
------	--

使用資料 <テキスト>	田村弘行『フランス語で<ようこそ>』三修社。	使用資料 <参考図書>	授業中に随時紹介します。
----------------	------------------------	----------------	--------------

授業外学修等	<p>毎回、授業の開始時に、前回授業の内容について小テストを行います。したがって、前回の授業を復習して授業に臨むことが必須です。 テキストの録音音声を各自が必ずダウンロードして、復習に役立ててください。</p>
--------	--

授業外質問方法	オフィスアワー時に直接質問を受けます。
---------	---------------------

オフィス・アワー	月曜日 3 限、324研究室。
----------	-----------------

授業科目名	英語 Bクラス	科目コード	G6101P01
英文名	English I		

科目区分	教養科目 - 外国語科目		
------	--------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	David Coolidge
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
-------	---------	---------	----------	---------	------------

到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.			
	: Increase confidence when reading and speaking in English.			
	: Develop academic English language skills for university and career success.			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
			/	/

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. 授業の内容、進め方の説明 Introductory activity: What is Academic English?	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 1 Reading 1: An Early Brain Map (Reading skill: Previewing) pages 3-8	
	【予習】 Read pages 3-8, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 1 Reading 2: Brain Mapping Today pages 9-16	
	【予習】 Read pages 9-16, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 2 Reading 1: What Time Is It? (Reading skill: Pronoun reference) pages 18-25	
	【予習】 Read pages 18-25, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 2 Reading 2: Time Zones pages 26-32	
	【予習】 Read pages 26-32, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1 and 2	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1 and 2. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 3 Reading 1: Harmful and Helpful Bacteria (Reading skill: Identifying definitions) Pages 34-40 and do the assigned exercises	
	【予習】 Read pages 34-40, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Unit 3 Reading 2: Fighting Bacteria pages 41-48	
	【予習】 Read pages 41-48, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-3.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 4 Reading 1: Changing a Traditional Way of Life (Reading skill: Identifying cause and result) pages 50-56	
	【予習】 Read pages 50-56, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 4 Reading 2: Changing the Future pages 57-64	
	【予習】 Read pages 57-64, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 4 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 4. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 5 Reading 1: Skyscrapers (Reading skill: Identifying examples) pages 66-72	
	【予習】 Read pages 66-72, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 5 Reading 2: The Growth of Cities pages 73-80	
	【予習】 Read pages 73-80, check the new vocabulary, and do the assigned excercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1-5 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1-5. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-5.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等、30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading Intro. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	英語 Eクラス	科目コード	G6101P01
英文名	English I		

科目区分	教養科目 - 外国語科目		
------	--------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	Jared Winans
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	4限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	This course focuses on improving reading, writing, and speaking skills acquired in high school while preparing students for academic university English study. The class will be comprised of reading comprehension exercises, writing assignments, and in-class discussion. Students will be expected to master necessary vocabulary, complete assigned exercises before class, and speak and discuss in English during class.			
-------	---	--	--	--

キーワード	Reading	Writing	Speaking	Grammar	Vocabulary
-------	---------	---------	----------	---------	------------

到達目標	: Improve reading, writing, speaking, and listening skills.			
	: Increase confidence when reading and speaking in English.			
	: Develop academic English language skills for university and career success.			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
			/	/

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Course introduction, Rules and policies. 授業の内容、進め方の説明 Introductory activity: What is Academic English?	
	【予習】	
	【復習】 Review introductory activities and syllabus.	30分
第2回	Unit 1 Reading 1: The History of Bicycles (Reading skill: Previewing) pages 3-9	
	【予習】 Read pages 3-9, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第3回	Unit 1 Reading 2: Segway Into the Future pages 10-16	
	【予習】 Read pages 10-16, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第4回	Unit 2 Reading 1: The Battle Against Malaria (Reading skill: Finding the main idea) pages 18-25	
	【予習】 Read pages 18-25, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第5回	Unit 2 Reading 2: Searching for New Medicines pages 26-32	
	【予習】 Read pages 26-32, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第6回	Review Unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1 and 2.	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1 and 2. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第7回	Unit 3 Reading 1: They Know What You Want (Reading skill: Scanning) pages 34-41	
	【予習】 Read pages 34-41, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第8回	Unit 3 Reading 2: What 's in a Name? pages 42-48	
	【予習】 Read pages 42-48, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分

第9回	Midterm exam	
	【予習】 Prepare for midterm exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-3.	90分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	
第10回	Discuss midterm exam. Unit 4 Reading 1: Who Are You? (Reading skill: Identifying examples) pages 50-57	
	【予習】 Read pages 50-57, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第11回	Unit 4 Reading 2: Symbolic Clothing pages 58-64	
	【予習】 Read pages 58-64, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第12回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Unit 4 and previous units as necessary	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Unit 4. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第13回	Unit 5 Reading 1: What is Success? (Reading skill: Identifying definitions) pages 66-72	
	【予習】 Read pages 66-72, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第14回	Unit 5 Reading 2: I Love Me pages 73-80	
	【予習】 Read pages 73-80, check the new vocabulary, and do the assigned exercises.	60分
	【復習】 Review notes and activities from class and work on mastering new vocabulary.	30分
第15回	Review unit: Review academic skills and vocabulary from Units 1-5 and prepare for final exam	
	【予習】 Review assignments and vocabulary from Units 1-5. Prepare questions for class.	60分
	【復習】 Continue reviewing new concepts and vocabulary for mastery and prepare for final exam as instructed.	30分
第16回	Final Exam	
	【予習】 Prepare for final exam as guided by instructor. Work on mastering academic concepts and vocabulary from Units 1-5.	90分
	【復習】	

評価方法	Midterm test, 20%; Final Exam, 30%; Homework, 20%; In-class exercises, discussion, and presentation, 30%. The grading system will be explained in class. 中間テスト 20%、期末試験 30%、宿題20%、授業中の課題、活動、プレゼンテーション等30%で評価する。 授業で評価方法について説明がある。		
使用資料 <テキスト>	Inside Reading 1. Arline Burgmeier, Oxford University Press.	使用資料 <参考図書>	Dictionaries. 辞書：和英、英和、英英
授業外学修等	Students are required to read assigned essays, complete assigned exercises, and learn new vocabulary before class.		
授業外質問方法	Contact by email:		
オフィス・アワー			

授業科目名	中国語 Bクラス	科目コード	G6101P03
英文名	Chinese I		

科目区分	教養科目 - 外国語科目		
------	--------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	銭 輝
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日 木曜日	時限	3限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択必修	単位数	4単位

授業の概要	中国語の初歩的な発音と声調から始め、基礎文法を学び、発音練習、音読、例文を中心とした作文、ヒヤリング、スピーキングなどの練習を繰り返して行います。中国文化も授業の中の一貫として行います。一年間で基礎的な中国語を応用できる力を身に付けること、異文化理解ができるようになることを目指します。			
-------	---	--	--	--

キーワード	発音	文法	会話	応用練習	身につける
-------	----	----	----	------	-------

到達目標	中国語のピンインに基づいて、正しく発音ができること。			
	基礎文法を正しく応用ができること。聞いてわかるようになり、簡単な日常会話ができることを目指す。			
	中国文化が知った上での異文化理解ができること。			
	目標到達を目指して 1. 課題完成度 (予習、復習、宿題) 50%、 2. テストの成績50%で評価する。			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力 (専門性の向上)
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー (重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法 (授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	中国語について 発音編 声調・単母音 挨拶言葉	
	【予習】CDを聴きながら、声調と母音を練習する	30分
	【復習】声調と母音を覚えるようにする・挨拶言葉の応用練習	30分
第2回	発音編 複母音・挨拶言葉	
	【予習】複母音の練習	30分
	【復習】挨拶言を覚え、単母音・複母音が書けるようにする	30分
第3回	発音編 子音 挨拶言葉	
	【予習】母音の練習	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、子音が書けるようにする	30分
第4回	第4課 鼻母音 挨拶言葉	
	【予習】母音・複母音・鼻母音を聞く	30分
	【復習】挨拶言葉を覚え、母音・子音が書けるようにする	30分
第5回	発音ルール 発音総合練習 発音段階のテスト	
	【予習】発音ルールを身につける・漢詩を聞く	30分
	【復習】発音ができ、ピンインが書けるようにする	30分
第6回	第1課 断定文「～是～」の使い方、人称代名詞	
	【予習】CDを聴きながら、読む練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第7回	場所を表す代名詞、疑問詞を使った疑問文	
	【予習】代名詞、疑問詞の使い方	30分
	【復習】第1課 ポイント	30分
第8回	第1課 本文と単語	
	【予習】第1課 練習問題	30分
	【復習】本文と練習問題	30分
第9回	第2課の本文と単語	
	【予習】第2課の本文と単語	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分

第10回	文法： 形容詞述語文、動詞述語文	
	【予習】助詞「的」の使い方、疑問文	30分
	【復習】介詞「在」の使い方、数詞、有の使い方	30分
第11回	本文と単語、ポイント部分	
	【予習】会話練習	30分
	【復習】応用できるように単語と本文を覚える	30分
第12回	年齢の尋ね方、十二干支の表現	
	【予習】第3課 ポイント の内容	30分
	【復習】ポイントにある作文練習	30分
第13回	第3課 接続詞の「和」、省略疑問文の表現	
	【予習】年月日の表現、文法と会話	30分
	【復習】名詞述語文と練習	30分
第14回	本文、会話、練習	
	【予習】第3課の単語、本文、文法	30分
	【復習】第3課のポイントと練習部分	30分
第15回	第4課 本文と単語	
	【予習】ポイント の内容	30分
	【復習】練習問題	30分
第16回	形容詞の連体修飾表現、方位詞	
	【予習】第4課のポイント の内容	60分
	【復習】第4課の文法、会話	60分
第17回	「有」存在の表現、動詞「去」を使った連動文	
	【予習】第4課の練習	30分
	【復習】単語と本文を覚えるようにする	30分
第18回	中間テストための勉強	
	【予習】第1課、第2課、第3課、第4課の内容	30分
	【復習】単語、本文、会話、文法	30分

第19回	中間テストの実施	
	【予習】テスト準備	30分
	【復習】テスト点検	30分
第20回	第5課 本文と単語	
	【予習】単語、本文、会話、文法	30分
	【復習】ポイント の内容	30分
第21回	第5課 曜日の表現、助詞「了」の使い方	
	【予習】ポイント の内容	30分
	【復習】第5課 本文と単語を覚えるようにする	30分
第22回	第5課 会話と応用練習	
	【予習】仮定の表現、月日の表現	30分
	【復習】練習問題	30分
第23回	第6課の単語と本文	
	【予習】依頼の表現、選択疑問文の使い方	30分
	【復習】第6課の文法と単語	30分
第24回	授受の表現、感嘆の表現	
	【予習】第6課のポイント	30分
	【復習】作文と会話	30分
第25回	「太...了」の表現、数量詞の使い方	
	【予習】第6課のポイント	30分
	【復習】練習問題	30分
第26回	中国の文化について	
	【予習】各自に調べてもらう	30分
	【復習】プレゼンができるように準備する	30分
第27回	第7課 単語と本文	
	【予習】単語と本文を読むようにする	30分
	【復習】構文を使って作文ができるように	30分

	第7課 ポイント の内容	
第28回	【予習】会話練習（第7課）	30分
	【復習】作文練習（第7課）	30分
	動詞「喜欢」、副詞「有时」の使い方	
第29回	【予習】第7課の本文と会話	30分
	【復習】練習問題	30分
	助動詞「想」、「既-又」の使い方	
第30回	【予習】第7課のポイント の内容	30分
	【復習】単語、本文、会話、文法	30分
	期末テスト前の復習	
第31回	【予習】第5課、第6課、第7課を中心に	60分
	【復習】テスト範囲	60分
	期末テスト	
第32回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	1. 授業態度（朗読・会話・応用練習の真剣さ）、課題完成度（予習、復習、宿題）50% 2. テストの成績50% 3. ディプロマ・ポリシーに関しては人間性10%、社会性20%、専門性70%、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って、評価する。
------	---

使用資料 <テキスト>	應廣建・湯麗敏著 「スタート中国語」 白帝社	使用資料 <参考図書>	小学館「中日辞典・日中辞典」
----------------	---------------------------	----------------	----------------

授業外学修等	必ず予習、復習をしてから授業に臨んでください。間違っても、下手でも、とにかく「言ってみよう！聞いてみよう！」「話してみよう」にしましょう。
授業外質問方法	質問があれば、遠慮せずにいつでも聞いてください。（湯研究室424研究室）
オフィス・アワー	火曜日2限

授業科目名	人間と環境	科目コード	K0502P01
英文名	Humans and Environment		

科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 環境と共生対応		
------	--------------------------	--	--

職名	教授 客員教授	担当教員名	松山 友之 尾畑 納子
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	火曜日	時限	3限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	身近な暮らしと環境の関わりや全地球的な自然環境のメカニズムと環境問題、E S Dについて概説する。		
-------	---	--	--

キーワード	暮らしと環境	環境問題	E S D		
-------	--------	------	-------	--	--

到達目標	幼児から小学生が、人間と環境の関わりを調べ、環境について考えるために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。(60%)				
	環境問題について多面的に考え、持続可能な社会を作り上げるためにどのように行動すればよいかを意思決定できる。(40%)				

卒業要件・資格関連等					
------------	--	--	--	--	--

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー

ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）		21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）		
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養		富山の子ども育成		

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
--------------------	--	--	--	--

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
------------	--	--	--	--	--

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 人間と環境の授業の紹介、「江戸時代の暮らしから現在の暮らしを考える。」	
	【予習】	
	【復習】・「江戸時代と現在の暮らしを比較して」小レポートにまとめ、提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第2回	暮らしと環境について、生活とは	
	【予習】	
	【復習】自分の1日の生活時間について整理する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第3回	食生活と環境	
	【予習】食生活と環境で気になっていることをまとめる	30分
	【復習】食の安全について関心のある事柄を小レポートにまとめ、提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第4回	衣生活と環境	
	【予習】家庭の中での衣服で問題点を探る。	30分
	【復習】衣服のリサイクルについて調べ、小レポートにまとめ、提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第5回	快適性と環境問題	
	【予習】	
	【復習】家庭用洗剤の表示（用途、成分）を3つまで書き写し、提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第6回	日本の環境問題の変遷	
	【予習】生活と環境の関わりについて考える	30分
	【復習】生活と環境問題の関わりにつてまとめ、提出する（課題）学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第7回	地球のプロフィール（生命の誕生と進化、地球環境の歴史）	
	【予習】・生命の誕生から進化について主な年代を調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・地球のプロフィールの授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第8回	地球温暖化と砂漠化（海面上昇、ヒートアイランド、森林破壊）	
	【予習】・地球温暖化の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・地球温暖化と砂漠化からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第9回	水質汚染と浄化（赤潮、マイクロプラスチック、重油流失）	
	【予習】・水質汚染の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・水質汚染と浄化の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分

第10回	大気汚染とその対策（光化学スモッグ、PM2.5、黄砂、酸性雨、オゾン層の生成と破壊）	
	【予習】・大気汚染の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・大気汚染とその対策の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第11回	生物環境の維持と食物生産（生物濃縮、遺伝子組換え食品、外来種、過放牧、乱獲）	
	【予習】・生物環境を破壊する原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・生物環境の維持と食物生産の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第12回	環境破壊と伝染病（インフルエンザ、デング熱、エボラ出血熱）	
	【予習】・代表的な伝染病について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・環境破壊と伝染病の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第13回	産業と公害（四大公害病、イタイイタイ病、ダイオキシン、鉱毒）	
	【予習】・公害の原因について調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・産業と公害の授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第14回	ESDとユネスコスクール（バイオマス、小水力発電、風力発電）	
	【予習】・ESDとユネスコスクールについて調べ、発表の要旨をまとめる。	30分
	【復習】・ESDとユネスコスクールの授業内容からテーマの一つ選んで小レポートにして提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第15回	富山の自然環境とその保全（呉羽キャンパス、富山市・射水市の自然や環境保護の実態）	
	【予習】	
	【復習】人間と環境の授業から総合的に身近な自然や環境を保全し、住みやすい地域をつくることについて意見をレポートにまとめ提出する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	課題のレポート(80%)、15回の取組の状況及び小レポート等(20%)により評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	プリント資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、授業中に紹介する。
授業外学修等	予習復習の徹底。		
授業外質問方法	授業終了後またはメールで質問 (obata@tuins.ac.jp; matsuyama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	金曜 1 限		

授業科目名	地域文化論	科目コード	G1202P03
英文名	Regional Culture		

科目区分	学部共通科目 - 地域づくり科目
------	------------------

職名	非常勤講師	担当教員名	木本 秀樹
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>「地域」概念の多様性から1970年代、歴史学において「地域史研究」の理念が登場する。その後、大規模災害や各分野での流動化現象により、地域社会の継続性の困難さも指摘されてきた。こうした中で地域文化における技術・技能伝承、記録・記憶の不連続性や継承力の低下がさげばれながら、今世紀に入りこれらを克服しようとする新たな動向もうかがわれる。ローカルとは地域自体に籠もることではなく、例えば、「地域」という窓から日本全体や北東アジアなどを見る視点として位置づけていこうとするものである。そして地域に生きることの肯定感の高揚や地域社会を批判的（学問的）に見すえて変えていくとともに、ライフステージに応じた担い手育成の役割にも注視していきたい。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	地域史研究	地域文化遺産	生活文化	継承力	地域知
-------	-------	--------	------	-----	-----

到達目標	<p>：文化構造には、基層文化（ex.生活文化）のもとに表層文化（ex.芸術文化）があり、地域文化のもつ多様性や同質性、相互扶助の理念など様々な性格や形態、実情などについて理解を深めることができる。（60％）</p>				
	<p>：地域文化の継承や発展がこれからの地域力創造や地方再生の担い手となり、地域住民が「よりよい生活」を志向していく有用な手段となり得ることを理解することができる。（20％）</p>				
	<p>：社会全体に進行する「ネットワーク型ヨコ社会」や生活単位の基本となる「21世紀家族」の構成、住民間の自己存在感と他者理解の均衡など、地域社会における共存・共生のあり方や課題解決に向けた取り組みにつき、地域文化論の立場から志向することができる。（20％）</p>				

ディプロマポリシー	4.社会人としての能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	現代社会に必要な基礎知識の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業科目計画ガイダンス 「地域」・「文化」とは 本授業科目がめざす目的や実施計画、学修上の留意事項などを説明します。次いで、「地域」や「文化」を考える上での基本的な概念や視点、参考文献を提示するとともに、受講学生自身の出身地や居住する地域の文化のあり方を振り返ります。	
	【予習】 出身地や居住する地域の地形・産業などの特色を踏まえるとともに、その地に根ざしてきた芸能や年中行事、現在も行われている（過去に行われていた）特徴的なイベントなどをわかる範囲で挙げる。第1回授業のあり、そのレポートを書いて提出する。第1回授業以降の予習のあり方は、随時各回授業時において説明する。	60分
	【復習】	
第2回	「地域」・「文化」とは 「地域」・「文化」概念については歴史学、民俗学、文化人類学などの学際的視点から解説します。また、「地域」や「文化」が時間的な経過（歴史）と空間的な広がり（地理）から多様に構成されて今日に至るとともに、さらに重層的に解釈できることを概観していきます。	
	【予習】	
	【復習】 「地域」・「文化」のもつ多様性や多角的な視野からの観点を整理する。「地域」・「文化」に関しては、自分の興味関心となる視点を見出すことができるよう、毎回の授業内容を見直すことに努める。第2回授業以降の復習のあり方は、随時各回授業時において説明する。	30分
第3回	富山県の歴史と文化 富山県の自然環境と文化構造・県民性 日本の風土や富山県の自然環境を解説して富山県の文化を生み出した背景や文化圏を概観するとともに、古記録等から文化構造の要素を読み取っていきます。さらに県民性を育ててきた具体的な歴史事象をもとに、県民性の特徴や文化の土壌などを考える手立てとします。	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	富山県の歴史と文化 時代区分と古代・中世の越中 日本史上の時代区分を概観し、古代の行政制度が今日の地域区分の基となることを理解します。さらに古代越中国の大家持と『万葉集』や立山と古代社会、中世鎌倉・南北朝・室町・戦国期の歴史事象から、全国的に特色ある地域史・地域文化の一端に触れる機会とします。	
	【予習】	
	【復習】 第4・5・6回授業のテーマから興味関心をもった事柄の一つ調べてまとめ、レポートを提出する。（詳細は授業時に説明する）	120分
第5回	富山県の歴史と文化 近世の越中・近現代の富山県 近世では佐々成政、前田氏による支配ー加賀藩及び富山藩の政策や特徴的な越中売薬について紹介します。近現代では富山県誕生に至る変遷や工業県としての発展、高度経済成長と日本海時代の到来、交通ネットワークの整備など、今日の富山県の姿に迫ります。	
	【予習】	
	【復習】（第4回-復習内容と同様）	
第6回	富山県の歴史と文化 立山にみる文化構造 奈良時代から歴史の舞台に登場し、平安時代から信仰の山として広まり、全国的に布教を展開した立山信仰史を解説します。また、日本の山岳信仰や日本人の精神世界との関わりにも触れるとともに、今日の観光の山ー立山とその文化構造について考える機会とします。	
	【予習】	
	【復習】（第4回-復習内容と同様）	
第7回	「山」・「川」・「海」の文化と思想 自然地形には、それに関係性をもつ集団の営みや文化的要素が内在するとともに、その根底に息づいてきたものに日本のみならず、東アジアにおける思想的背景が存在することを解説します。中でも、これらが日本における精神文化の基調となっていくことにも触れていきます。	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	地域社会と文化遺産 富山県に現存する伝統芸能に関する映像（「とやまの奥山（ひきやま）」）を視聴して、現存する文化遺産の一端を解説します。さらに、それらのもつ今日的な文化的価値や現況について紹介するとともに、自分の身近な地域に存在する芸能やその保存に関わる考え方に迫ります。	
	【予習】 第13回授業では、地域博物館・資料館について学修する。そこで富山県内の地域博物館・資料館などを紹介し、その中から1館を選択して事前に観覧する。（他に自分が観覧したい館でもよい）観覧は「地域」や「文化」といった観点を中心にして、第13回授業までの間にレポートを書いて提出してもらおう。（詳細は授業時に説明する）	120分
	【復習】	
第9回	地域社会と文化遺産 現代に生きる伝統芸能とそれを取り巻く今日の課題は、数々存在します。これらを踏まえて世界遺産、日本遺産をはじめとする国内外の遺産登録の現状とその背景について考える機会とします。	
	【予習】	
	【復習】	

第10回	生活文化とは 日本の風土に根ざしてきた生活文化とは何か、その内容の一端と視点を解説します。実例として、太平洋戦争後（1945年・昭和20年～）から今日までの日本の半世紀にわたる生活様式の変遷について取り上げ、生活文化という概念が登場するに至った背景を考えます。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	生活文化とは 日本の風土と生活習慣を背景に、今日まで培われてきた太陰暦（旧暦）1年間の生活暦や年中行事について解説します。これら背景には日本のみならず、古代東アジア社会の思想が色濃く反映するとともに、現代においても姿形を変えて息づいていることの意義を考えます。	
	【予習】	
	【復習】 地域的特色や違いをとらえることを視点とし、自宅で食べる正月の雑煮の内容を確認してレポートを提出する。（詳細は授業時に説明する）	60分
第12回	「郷土史」から「地方史」、そして「地域史」へ 地域の歴史は、明治・大正期から昭和前期（～1945年）まで広く「郷土史」とよばれ、その後、1950年代の「地方史」、1970年代からは「地域史」と呼称して今日に至ります。これが単なる名称の変化のみならず、「郷土」の歴史研究や「地域」概念の変遷に基づくことを考えます。	
	【予習】	
	【復習】 これまで既習（既修）してきた歴史教科と本授業科目での「地域史」との相違する視点は何か、第3～6回授業内容も踏まえながら自分の考えをまとめておく。	60分
第13回	地域歴史遺産と生涯学習社会 地域社会に伝えられてきた歴史資料（史）料の存在、その保存や活用に向けた取り組みについて解説します。さらに地域博物館・資料館、自治体史編纂、市民講座、歴史的環境整備など、地域社会と地域文化をつなぐコーディネーターとしての役割や機能についても考えます。	
	【予習】 第15回授業・総括と発表（アクティブ・ラーニング）に向けて準備する。発表内容や形態、方法、機器の使用などについては、今回授業時以前から適宜指導していくが、自分の専攻や他授業科目の既修内容を踏まえた視点からの発表も期待する。	120分
	【復習】	
第14回	地域学と地域文化 地域学や地域づくり、地域学習の視点を提示してその背景について説明するとともに、近未来における地域社会の担い手育成に向けたあるべき姿や方向性についても解説します。さらに、地域文化の継承・発展をこれからの市民的教養として捉えていく姿勢も示します。	
	【予習】（第13回-予習内容と同様）	
	【復習】	
第15回	総括と発表 - アクティブ・ラーニング 地域文化の継承と発展を図る上で求められる資質や能力、地域づくりと地域文化との関わり、伝統文化の保存と地域開発との整合性など、各授業時に示したテーマの中から関心をもったものを選択して発表してもらいます。（自分の専攻を踏まえた視点からの発表も期待する）	
	【予習】	
	【復習】 これまでの学修内容の概略をまとめ、地域文化の振興を図る上で自ら課題解決に臨む姿勢をもつことができるよう、復習に努める。	120分
第16回	前期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>到達目標 及び では、授業中に指定する課題レポート、口頭発表、受講態度等を中心に評価する。(40%)</p> <p>到達目標 及び では、前期末筆記試験をもとに評価する。(60%) 評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。</p>	
使用資料 <テキスト>	<p>毎授業時には講師作成資料や記事、データ、映像(動画・静止画)などの教材を提示</p>	<p>使用資料 <参考図書></p> <p>・『富山県史』各巻、各市町村史、地域史研究書、歴史学研究書をはじめ、テーマに</p>
授業外学修等	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回-予習で挙げた、学生個人による地域博物館・資料館の観覧及びレポート提出。 ・学生の出身地や居住地における年中行事など、地域資源の確認。(授業時に説明する) 	
授業外質問方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時前後及び随時、理解度の確認。 ・講師と学生との時間調整により面談、その他による対応。(第1回授業時のガイダンスにおいて説明する) 	
オフィス・アワー	<ul style="list-style-type: none"> ・金曜日2時限 非常勤講師控室。(事前確認のうえで水曜日2時限も可) ・講師と学生との時間調整により面談、その他による対応。(第1回授業時のガイダンスにおいて説明する) 	

授業科目名	住環境デザイン	科目コード	G3202P05
英文名	Living Environment Design I		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザイン」「住環境デザイン」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「住環境デザイン」と「住環境デザイン」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を旨としている。「住環境デザイン」では、私たちの生活と住まい、インテリアコーディネート、住まいの歴史を中心に学ぶ。また、インテリアコーディネーター実務者によるプレゼンテーション実習を予定している。(担当教員:企業での実務経験豊富)(関連SDGs:目標7、目標11、目標12)</p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	生活と住まい	色彩と造形	家具の設計	インテリアエレメン	住まいの歴史
-------	--------	-------	-------	-----------	--------

到達目標	私たちの生活と住まいの関係性を説明できる。(30%)				
	家具、インテリアエレメントに関するデザイン基礎知識がある。(30%)				
	住まいの歴史の概要を説明できる。(40%)				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力(専門性の向上)	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	

キー・コンピテンシー(重視する能力)				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第2回	私たちの暮らし(1)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第3回	私たちの暮らし(2)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第4回	色彩の基礎	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第5回	色彩計画と造形	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第6回	家具の種類と構造	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第7回	家具の生産	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第8回	人間工学と椅子の設計	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第9回	インテリアエレメント	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分

第10回	日本の住まいの歴史(1)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第11回	日本の住まいの歴史(2)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第12回	インテリアコーディネート実習	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第13回	世界の住まい(1)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第14回	世界の住まい(2)	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第15回	現代の住まい	
	【予習】SNSで授業内容を配信するので、目を通しておく。	15分
	【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。	60分
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>期末考査は行わない。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」(約50%)、全員が提出すべき「必修レポート」(「復習レポート」を含む)、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」(ミニテスト以外約50%)の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ</p>	<p>使用資料 <参考図書></p>	<p>授業の内容はLINE上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に</p>
授業外学修等	<p>授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義内容を復習する「復習レポート」、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、LINE、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやLINEにて行うことを希望する。 メールアドレス : kawamoto@tuins.ac.jp SNS : https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 2 時限 (10 : 40 ~ 12 : 10) 研究室 (439 室) にて</p>		

授業科目名	住環境デザイン演習	科目コード	G3203P07
英文名	Living Environment Design Practicum		

科目区分	環境デザイン専攻科目 - 生活環境		
------	-------------------	--	--

職名	教授	担当教員名	川本 聖一
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	2限目
開講時期	3年前期	授業の方法	演習
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p> 本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザイン」「住環境デザイン」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。その中で、「住環境デザイン」と「住環境デザイン」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。2つの講義を通して学んだ知識を基本に、「住環境デザイン演習」では、研究や実務に必要なプレゼンテーション手法に関して学習する。また、クライアントからのヒアリング能力、クライアントとのコミュニケーション能力を養う。各課題終了時に評価会を行う。内容は、一般的な図面や絵を使ってプレゼン能力を養うものであるため、「住環境デザイン」を受講していなくても構わない。単に出席していても意味がなく、各課題の提出とプレゼンテーションの実行を確実にしなければならない。（担当教員：企業での実務経験豊富）（関連SDGs：目標7、目標11、目標12） </p>			
-------	---	--	--	--

キーワード	プレゼンテーション	設計製図	C A D	インテリアの設計	住宅の設計
-------	-----------	------	-------	----------	-------

到達目標	アパートや住宅の企画をグループ内でコミュニケーションをとりまとめる能力がある。（30％）				
	アパートや住宅の要望を整理して自分の企画を立てられる能力がある。（30％）				
	自分が作成した企画を有効にプレゼンテーションできる能力がある。（40％）				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	環境デザインに関する専門性の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイドンス / 用具の使用方法和線の引き方	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第2回	図面のトレースと着彩 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第3回	住宅平面図 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第4回	住宅立面図 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第5回	パースの作成演習 1 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第6回	パースの作成演習 2 / CAD演習	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第7回	プライベートルームの企画立案 (グループワーク)	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第8回	プライベートルームの設計 1	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第9回	プライベートルームの設計 2	
	【予習】	
	【復習】 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分

第10回	プライベートルームの設計評価会	
	【予習】プライベートルームプレゼンテーションの準備	180分
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第11回	住宅計画の企画立案（グループワーク）	
	【予習】	
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第12回	住宅設計演習 1	
	【予習】	
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第13回	住宅設計演習 2	
	【予習】	
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第14回	住宅設計演習 3	
	【予習】	
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第15回	住宅設計評価会	
	【予習】住宅設計プレゼンテーションの準備	180分
	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。	60分
第16回	住宅設計評価会 2（評価会未修了者、評価会欠席者対象）	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>期末考査は行わない。作成された作品（約50%の評価）とプレゼンテーション（約50%の評価）を学生が相互に評価した結果に基づいて評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。</p>		
使用資料 <テキスト>	<p>オリジナルプリントを配布 各自フォルダーを用意して配布されたプリ</p>	<p>使用資料 <参考図書></p>	<p>授業の内容はLINE上にアップするので、予習・復習に活用することができる。必要に</p>
授業外学修等	<p>各課題を授業中に完成できない者は、授業以外に時間を作り課題を完成する必要がある。</p>		
授業外質問方法	<p>オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、LINE、SNS、にて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールやLINEにて行うことを希望する。 メールアドレス：kawamoto@tuins.ac.jp SNS：https://www.facebook.com/Kawamoto.Laboratory?ref=aymt_homepage_panel</p>		
オフィス・アワー	<p>木曜日 2 時限（10：40～12：10） 研究室（439室）にて</p>		

授業科目名	経営戦略論	科目コード	G4302P01
英文名	Management Strategy		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営戦略		
------	-----------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	伊藤 葵
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	月曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	<p>企業は、環境変化に適応するために、経営戦略を策定します。この講義では、経営戦略論における基礎的な概念や理論に基づき、経営環境分析、企業戦略、事業戦略、機能別戦略等について学びます。また、企業が実際にどのような経営戦略を行っているのか、具体的な事例なども取り上げながら、理論と実践の双方についての理解を深めます。</p> <p>授業は、C-Learningのアプリを活用した相互コミュニケーション型（アクティブラーニング）で行います。（担当教員：実務経験あり）</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	経営環境分析	企業戦略	事業戦略	機能別戦略
-------	--------	------	------	-------

到達目標	経営戦略における基礎的な理論を理解できること。（30%）			
	企業は経営戦略をどのように策定し、実行しているのかを理解できること。（30%）			
	関心のある企業の経営戦略について分析できること。（30%）			

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	専門分野に共通する基礎知識の向上	経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス	
	【予習】興味のある企業のIR資料や経営ビジョンに目を通してきてください。	30分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、課題を提出してください。	30分
第2回	戦略的思考とは 経営戦略において、戦略的に考えるとどのようなことが、身近な企業の戦略について考えます。受講数に応じてC-Learningなども活用しながら、意見交換もしていきます。	
	【予習】これまでの学校生活や部活動などにおいて、目的を達成するために戦略を計画し、実行した経験を整理してきてください。	30分
	【復習】授業中に配布したテキストやノートを見ながら、課題を提出してください。	30分
第3回	経営環境分析とは 外部環境分析の必要性や分析に用いるフレームワークについて紹介します。グループワークでは、PEST分析などの手法で、実際に興味のある業界の外部環境について分析してもらいます。	
	【予習】興味のある業界を取り巻く経営環境について、事前に調べてください。	30分
	【復習】グループワークで分析した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第4回	経営環境分析とは 内部環境分析について、SWOT分析、3C分析、VRIO分析などの手法についてを紹介します。グループワークでは、これらの手法で、実際の企業について分析してもらいます。	
	【予習】興味のある企業における経営環境について、事前に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで分析した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第5回	企業戦略とは 事業ドメインや戦略の方向性をどのように決定するのかについて学びます。グループワークでは、アンゾフの成長ベクトルなどのフレームワークを用い、興味のある企業の成長戦略について考察してもらいます。	
	【予習】興味のある企業を1社選定し、ホームページなどから、その企業の成長戦略について事前に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第6回	企業戦略とは 多角化戦略、ブルー・オーシャン戦略、戦略キャンパスなどについて学びます。グループワークでは、興味のある企業について、フレームワークを用いて戦略を考察してもらいます。	
	【予習】興味のある企業を1社選定し、ホームページなどから、その企業の戦略について事前に調べてきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第7回	事業戦略とは ポーターの競争戦略について主要な考え方を学び、グループワークでは、実際に興味のある企業について分析します。	
	【予習】興味のある業界において、競争業者、新規参入業者、買い手、供給業者、代替品を、事前に調べてきてください。	30分
	【復習】ポーターの5つの競争要因についてグループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第8回	事業戦略とは 競争地位戦略、ランチェスター戦略など、業界のポジショニングに応じた戦略について学びます。グループワークでは、興味のある業界においてどのような企業が存在するのか、どのような戦略を行っているのかについて、考察してもらいます。	
	【予習】興味のある業界においてどのような企業が存在するのかを調べ、それぞれどのような戦略を立てているのかについて、整理してください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分

第9回	機能別戦略（販売戦略）とは マーケティングにおける代表的な理論について学びます。グループワークでは、マーケティング・ミックスの概念に基づき、関心のある企業の販売戦略について分析してもらいます。	
	【予習】関心のある企業について、製品、価格、流通、広告について、どのような戦略をとっているのか、事前に調べてきてください。	30分
	【復習】販売戦略についてグループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第10回	機能別戦略（技術戦略）とは イノベーションの概念を中心に、技術戦略の動向について学びます。講義では、映像資料や新聞記事などを用いて、最新の事例について紹介します。また、C-Learningなどを活用しながら、意見交換をしていきます。	
	【予習】身の回りでどのようなIT技術が用いられているのかを調べ、企業経営におけるIT技術の活用法について、自身の意見をまとめてきてください。	30分
	【復習】授業やグループディスカッションなどを通して学んだ内容についてまとめ、小レポートとして提出してください。	30分
第11回	機能別戦略（生産戦略）とは ジャスト・イン・タイムやかんばん方式、サプライチェーン・マネジメントなど、代表的な生産戦略について学びます。講義では、映像資料や新聞記事などを用いて、最新の事例について紹介します。また、C-Learningなどを活用しながら、意見交換をしていきます。	
	【予習】トヨタ生産方式について、ホームページなどを参考に、事前にまとめてきてください。	30分
	【復習】授業やグループディスカッションなどを通して学んだ内容についてまとめ、小レポートとして提出してください。	30分
第12回	機能別戦略（組織戦略）とは 企業間の提携や買収などを通して、企業組織がどのような成長を遂げるのかについて学びます。また、M&Aの是非について、グループで議論してもらいます。	
	【予習】近年行われたM&Aの事例について3件以上調べ、案件の概要をまとめてきてください。	30分
	【復習】授業やグループディスカッションなどを通して学んだ内容についてまとめ、小レポートとして提出してください。	30分
第13回	機能別戦略（財務戦略）とは 企業価値の概念や財務的マーケティングの視点について学びます。グループワークでは、関心のある企業の財務戦略について考察してもらいます。	
	【予習】ホームページの企業のIR情報から、関心のある企業の財務データについて目を通しておいってください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第14回	経営戦略の実行 PDCAやBSCなどの企業が経営戦略を遂行するために使用するフレームワークや、戦略を実行するための課題などについて学びます。グループワークでは、各自が計画を実行するためにどうするべきかについて、議論してもらいます。	
	【予習】計画を実行するために、どのようなプロセスを経るのか、自身の考えを整理してきてください。	30分
	【復習】グループワークで考察した結果を、小レポートとして提出してください。	30分
第15回	総括	
	【予習】授業内で配布した資料やノートに一通り目を通し、これまでに学んだ内容を総復習してから受講してください。	60分
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度および授業中に指定する課題への取組み（60%）、期末レポート（40%）、到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	指定なし	使用資料 <参考図書>	寺本義也、岩崎尚人『新経営戦略論』（学文社）
授業外学修等	講義中に配られたプリントや自分の講義ノートをよく復習するようにして下さい。また、グループワークやレポート課題では、企業の戦略などについて、事前の予習が大切となります。		
授業外質問方法	疑問や質問にはオフィスアワー以外でも対応します。対応可能時間はメールで確認して下さい（aito@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	木曜日1時限		

授業科目名	流通チャネル論	科目コード	G4302P04
英文名	Distribution Channels		

科目区分	経営情報専攻科目 - 経営戦略		
------	-----------------	--	--

職名	非常勤講師	担当教員名	山瀬 孝
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	<p>本講義では、流通と商業について、現実から学ぶための理論と専門知識を解説します。その中心的な内容は、流通と商業の基本的な専門用語と流通の捉え方・枠組みについて説明した上で、流通の役割と機能を果たしている小売業の各種業態の特性・特徴について概観すると共に、卸売業の取引機能とその変化についても説明します。更に、販売チャネルの変化についても言及します。</p>			
-------	--	--	--	--

キーワード	流通の基本用語	流通の捉え方	各種小売業態	卸売業の取引	チャネルの変化
-------	---------	--------	--------	--------	---------

到達目標	流通・商業の専門用語と基本理論を理解する。				
	小売業の各業態および卸売業について、業態特性と仕組み、役割と機能を理解する。				
	ビジネスモデルの中で流通が果たす役割について考察できるようにする。				

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	経営情報に関する専門性の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【イントロダクション】 講師の仕事の概要を通して流通チャンネルを考える	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第2回	【流通とは?】 流通チャンネル、流通と商業が果たす社会的役割、卸売業と小売業	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第3回	【発展する商業：百貨店&総合スーパー】 商業の歩み、業種と業態、百貨店および総合スーパーの生成経緯と業態特性	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第4回	【講義】 食品スーパー&コンビニエンスストア (CVS) 1 食品スーパーおよびコンビニエンスストアの生成経緯と業態特性	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第5回	【講義】 食品スーパー&コンビニエンスストア (CVS) 2 食品スーパーおよびコンビニエンスストアの生成経緯と業態特性	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第6回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第7回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
第8回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】 適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】 適宜必要な学習をしてください。	60分

第9回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第10回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第11回	【講義】ロジスティクス&eコマース、今後の流通1 ロジスティクスおよびeコマースの生成経緯と業態特性、今後の物流のあり方	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第12回	【講義】ロジスティクス&eコマース、今後の流通1 ロジスティクスおよびeコマースの生成経緯と業態特性、今後の物流のあり方	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第13回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第14回	事例研究を通して実践的に考える。	
	【予習】適宜必要な学習をしてください。	60分
	【復習】適宜必要な学習をしてください。	60分
第15回	【総括】 本講義のまとめ、試験対策情報、授業アンケート	
	【予習】これまでの授業に関して、疑問点や感想をまとめておいてください。	60分
	【復習】試験に向け、適宜必要な学習を行なっていってください。（ラストスパート頑張ってください！）	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（100%）で、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	なし	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	<p>特に指定が無い限り、予復習の方法や時間は各人の裁量に委ねます。自分が一番身になる勉強法で学習して下さい。また、授業内で課題・レポートの提出、及びそのフィードバックがある事があります。</p> <p>日頃から面白いと感じたことは、どんどん追求して下さい。大学での時間を通じ、論理的、批判的、建設的に物事を考察できるように、また失敗を恐れず、自信を持って、自分の意見を主張できるようになってください。異論、反論は大歓迎です</p>		
授業外質問方法	mailにて問い合わせください。Yamase_t@jeckc.com		
オフィス・アワー			

授業科目名	Presentation and Debate	科目コード	G5303P03
英文名	Presentation and Debate		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - キャリア英語展開		
------	-------------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	Bogdan Pavliy
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	火曜日	時限	1限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	選択	単位数	2単位

授業の概要	The purpose of this class is to help students develop their presentation and debate skills in English. The class will focus on 3 main points: (1) making effective presentations, (2) analyzing information methodically in order to form a coherent and logical opinion, and (3) developing the language skills necessary to express opinions clearly.			
-------	---	--	--	--

キーワード	Speaking	Listening	Presentation	Debate	Critical thinking
-------	----------	-----------	--------------	--------	-------------------

到達目標	1 Develop effective presentation and debate skills			
	2 Improve knowledge of English vocabulary and expressions			
	3 Learn to analyze information logically and methodically in order to form a clear opinion			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Project 1: A Person to Admire (Self-analysis, drawing points and lessons from biography) Exploring the topic and generating language	
	【予習】	
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第2回	Project 1: A Person to Admire (Self-analysis, drawing points and lessons from biography) Research and material preparation	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第3回	Project 1: A Person to Admire (Self-analysis, drawing points and lessons from biography) Presentation/discussion/debate	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第4回	Project 2: Young People Today (Developing and administering a survey) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第5回	Project 2: Young People Today (Developing and administering a survey) Research and material preparation	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第6回	Project 2: Young People Today (Developing and administering a survey) Presentation/discussion/debate	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第7回	Project 3: In my opinion (Expressing opinions clearly and logically) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第8回	Project 3: In my opinion (Expressing opinions clearly and logically) Research and material preparation	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabulary practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分

第9回	Project 3: In my opinion (Expressing opinions clearly and logically) Presentation/discussion/debate	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第10回	Project 4: Free project (A project developed by students in class) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第11回	Project 4: Free project (A project developed by students in class) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第12回	Project 4: Free project (A project developed by students in class) Exploring the topic and generating language	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第13回	Debates (1)	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第14回	Debates (2)	
	【予習】 Complete the homework exercises and vocabularly practice before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第15回	Debates (3)	
	【予習】 Prepare the portfolio as directed by the teacher.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class, particularly feedback on your writing from the teacher.	30分
第16回	Final portfolio evaluation and review	
	【予習】 Prepare for the portfolio as directed by the teacher.	60分
	【復習】	

評価方法	<p>4 project portfolio + debate portfolio 100%. Portfolios will be evaluated on an ongoing basis throughout the semester. 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。 【注意】Portfolioによる評価なので、再試験は実施しない。 【ディプロマポリシー配分比率】 社会性：30%、 専門性：70%</p>		
使用資料 <テキスト>	All materials will be provided by the teacher.	使用資料 <参考図書>	Present Yourself Level 2, Student's Book., S.Gershon, Cambridge University Press
授業外学修等	Students will need to visit English Café and the library for research purposes.		
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	月曜日 1限		

授業科目名	多文化共生論	科目コード	G5403P02
英文名	Multiculturalism		

科目区分	英語国際キャリア専攻科目 - 国際理解		
------	---------------------	--	--

職名	准教授	担当教員名	Mark Frank
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	木曜日	時限	1限目
開講時期	3年前期	授業の方法	講義
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	This class will explore ideas and concepts of “ multicultural co-existence ” (多文化共生), using news articles, examples, and classroom activities. The class will be participatory, with students taking an active role in discussion, activities, and presentations. The language of the class will be in English and Japanese. (Many print materials will be in Japanese.)			
-------	--	--	--	--

キーワード	Multicultural	Diversity	Coexistence	Culture
-------	---------------	-----------	-------------	---------

到達目標	1 Foster an understanding of multicultural coexistence.
	2 Engage with problems of multiculturalism in order to develop intercultural skills.
	3 Develop the ability to recognize and accommodate cultural diversity in one's own community.

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	なぜ文化を学ぶか The value and meaning of studying culture	
	【予習】	
	【復習】 Review notes and handouts from class.	
第2回	「異なり」を考える What is " difference " ? What is "other"?	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第3回	「人」ってだれのこと？ 日本人・外国人 Nationality and identity	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第4回	カルチャー・マップ The Culture Map	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第5回	コンテキスト文化と5次元モデル the 5 Dimensional Model of Cultural Context	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第6回	みんなが暮らしやすく！ Universal design and a community for everyone	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第7回	ステレオタイプと思い込み Stereotypes	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第8回	国って愛さなきゃいけないの？ ナショナリズム Nationalism	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第9回	言語間の平等を考える What is interlingual equality?	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分

第10回	わかりやすく伝えよう！やさしい日本語 The necessity for easy-to-understand Japanese	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第11回	言語バリエーション Linguistic variety	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第12回	差別とその感情を考える What is discrimination?	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第13回	あなたにとっての「カミ」とは？ Religious difference and understanding	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第14回	異文化の順応と適応 Intercultural adaptation and accomodation	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第15回	多文化共生と富山 Multicultural Co-existence and Toyama	
	【予習】 Complete the homework exercises before class.	60分
	【復習】 Review notes and handouts from class.	30分
第16回	Test	
	【予習】 Prepare for the test as directed by the teacher.	60分
	【復習】	

評価方法	Homework assignments, 30% Reaction notebook, 20% Project, 30% Final test, 20%		
使用資料 <テキスト>	「多文化社会で多様性を考えるワークブック」	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	Students are invited to visit my office or contact me via e-mail with any questions or concerns.		
オフィス・アワー	水曜日 1限目 Wednesday first period		